

学術団体名：一般社団法人 日本鉄鋼協会
 学術刊行物の名称：ISIJ International
 事業期間：平成27年度～平成31年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

平成25年度に、日本国内の主たる鉄鋼・材料系学術ジャーナルを包括的にリンクしたジャーナルサイト「Steel Science Portal」を開設した。当該サイトにアクセスするだけで我が国の鉄鋼・材料研究の動向が瞬時に把握できる環境を整え、諸外国からの閲覧においても利便性の向上を図ることを目的とした。この「Steel Science Portal」サイトのプラットフォーム機能をさらに強化することにより、本会の欧文学術誌である ISIJ Internationalの閲覧環境を飛躍的に高め、我が国の鉄鋼研究の成果を広く世界に発信することを目指す。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

「Steel Science Portal」の機能強化、早期公開、引用お知らせメールなどのサービスの付与により、優秀な研究者の閲覧性を高めることにより、より質の高い論文が投稿されるようにする。

- 1) 質の高い論文が多い欧米研究者の掲載数(年間平均40件)を60%増、年間掲載数(約400件)を300件前後に抑え、質の高い論文を掲載する。
- 2) インパクトファクター(IF)の向上を図ると共に材料系ジャーナルにおけるIFの順位(2013年23位)を、最終的には15位以内に上げる。また、鉄鋼の引用は息が長いので、5年IF(現在1.224)を1.5程度に、Cited Half-life(現在9.8)を10以上とする。
- 3) 掲載論文の傾向、他有力誌の掲載論文の動向、両者の比較をWeb of Science等で随時調査し、閲覧性の向上、本誌の世界的位置向上を図る。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

- 1) 欧米先進諸国の研究者の掲載は、2015年、2016年共32件(20%減)とまだ増加には至っておらず、欧米先進諸国の研究者への情報発信強化が最大の課題である。年間掲載数は、2014年時398件、その後355件、306件、297件と300件に抑える目標値を達成している。
- 2) 2年IFは、2013年1.069、その後1.14、0.96、1.11と上昇しているが、順位は、2014年21位、その後33位、32位となっている。これは、材料系の優良なジャーナルの質が全体に向上しているためであり、情報発信力強化によるIFの向上が望まれ、順位目標15位以内の達成には更なる努力が必要である。但し、いずれも四分位数ではQ2を維持している。5年IFは、2013年1.224が1.343、1.257、1.396と上昇しており、1.5の目標値に近づいていて、本誌は長期に引用されることがわかる。Cited Half-lifeも2014年には10以上を達成、継続している。
- 3) 自誌・他誌の分析結果：他有力誌は殆どが商業出版社に委託している中、本誌は独自出版を継続している。またWeb of Scienceの指標の一つ、Normalized Eigenfactorではスコアが1以上で12位(Q1)と上位である。

・今後の計画

Portalの機能強化は期間前半で集中的に行ったので、今後は、Portalおよび本誌のPR活動を行うと共に、特に欧米研究者の投稿を促すためにターゲットを絞って勧誘等を行っていく。また本会WEBの本誌サイトを欧米研究者がより閲覧し易いように改造し、投稿へ誘導していく。効果的な国際発信のため競合誌等の調査を更に進め、設置した調査チームの活動結果に基づき、他の施策も展開していく計画である。

